

位置図・計画幅員



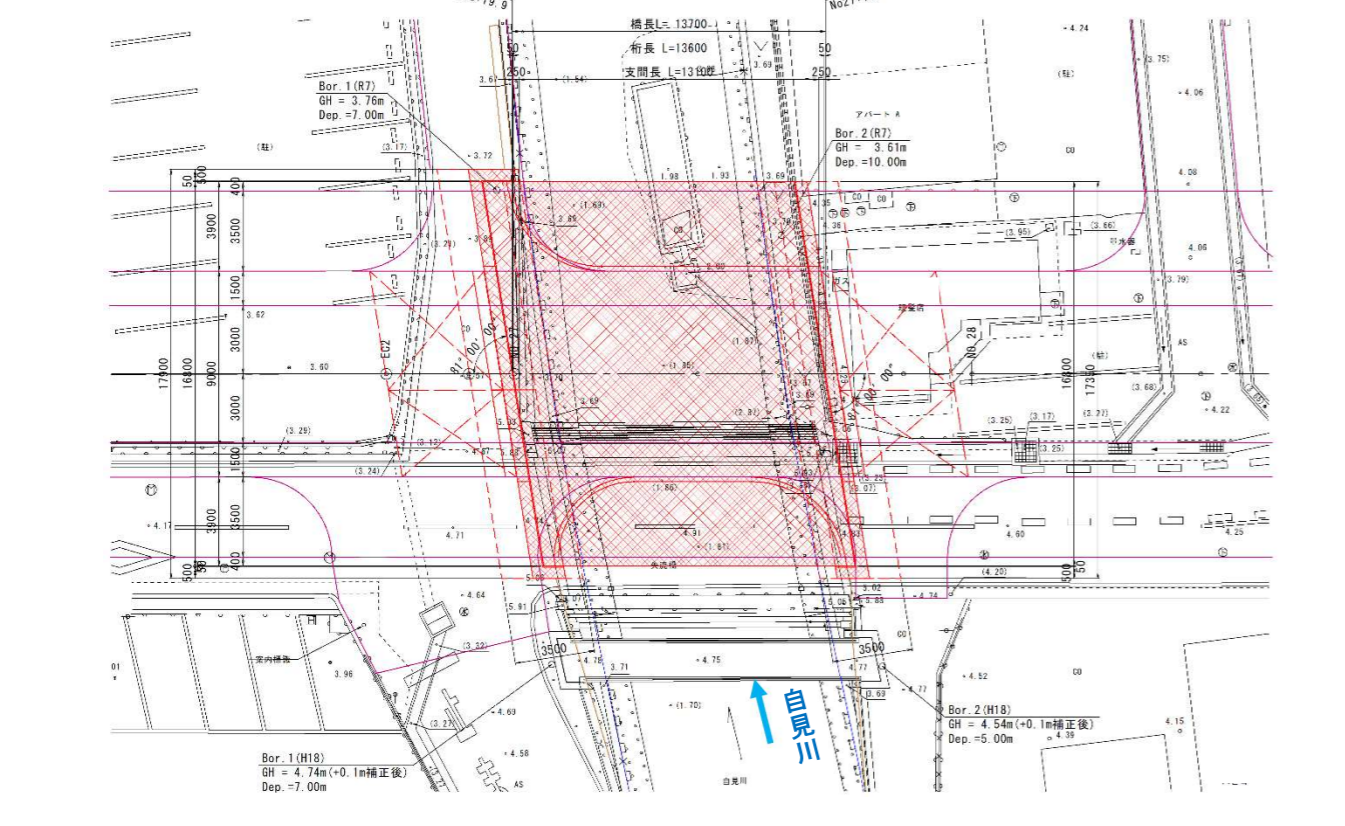
現地条件・課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)

- 施工時の現道通行帯の確保(通行規制、通過交通:車両・歩行者)
- 橋台施工時の仮設計画(工事中用施工ヤード、仮土留工、仮設防護柵)
- 施工計画検討区間の周辺民地への影響とその対応
- 旧橋撤去工事を含めた分割施工を考慮した施工計画と工程計画

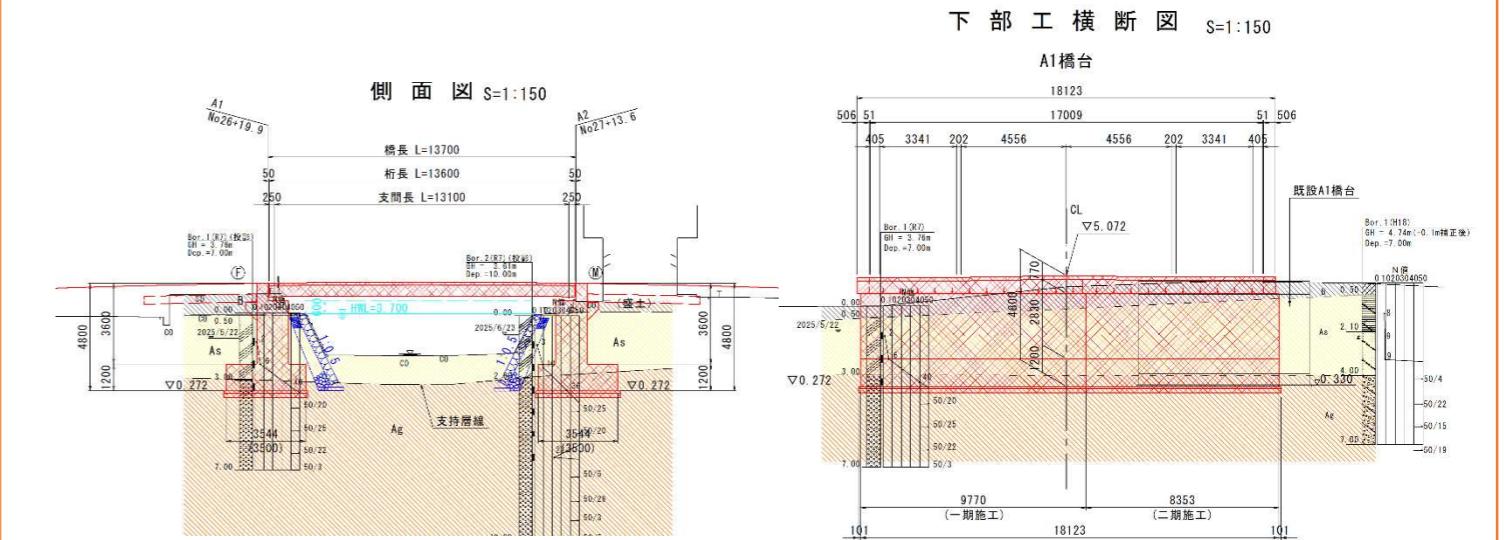
設計条件

- 道路区分:第4種第2級 設計速度:V=40km/h
- 計画幅員:W=16.0m(車道3.0m, 路肩1.5m, 歩道3.5m)
- 河川水位:HWL=3.70m
- 仮締切り:切梁式土留め工(鋼矢板)

平面図



標準断面図



施工者からの意見および対応方針

○改善事項

- ・特になし

○確認事項

- 電線の移設
 - ・九州電力・NTT等の電柱および架線が施工に支障する。
 - 事前の移設完了のために、事前協議を行う。
- 現道の大型車進入規制について
 - ・市民病院側からの大型車は進入禁止規制区間のため、10tダンプの走行が規制される。
 - 本道路の改良工事の進捗状況を踏まえて、規制解除を警察と事前協議を行う。
- 仮橋設置について
 - ・分割施工では、工期が長くなること、また、狭い施工ヤードでの施工となることから、仮橋を設けて迂回路とする案が効果的と考えられる。
 - 現状では家屋補償が発生するなど課題が多く、仮橋設置案は困難と考えている。工事前の周辺状況次第では仮橋設置案が有利となる場合が考えられるため、今後の確認事項とする。
- 大型土のうの設置方法について
 - ・既設橋の桁下空間が低いことから、この範囲の大型土のうの設置が困難となることが予想される。
 - クローラ式フォークリフトなど機械施工の採用を検討する。